

# 顕彰状

豊田章一郎氏は、1925年2月27日愛知県に生まれた。1947年名古屋大学工学部機械科を卒業し、1952年トヨタ自動車工業株式会社に取締役として入社、その後、1981年トヨタ自動車販売株式会社取締役社長に就任した。1982年トヨタ自動車工業株式会社とトヨタ自動車販売株式会社の合併によって発足したトヨタ自動車株式会社の取締役社長に就任し、1992年取締役会長、1999年取締役名誉会長に就任した。

豊田章一郎氏は、卓越した指導力と先見性を持った世界戦略の展開によってトヨタ自動車株式会社を牽引し、国内生産累計1億台を超える自動車会社へと押し上げ、「世界のトヨタ」の名声を不動のものとした。氏の世界戦略は、同社の国際競争力を強化し我が国経済の発展に資するだけにとどまらず、海外進出先の経済社会にも貢献することを旨とし、国際競争と国際協調の調和を追い求めるものである。これは、祖父豊田佐吉翁の遺訓である『豊田綱領』の「産業報国」の理念をグローバルな視点から具現化するものであり、世界的な大学間競争の中にあって「アジア太平洋地域における知の共創」を実現し、グローバルユニバーシティの地位を占めることを標榜する早稲田大学にとって、氏の世界戦略から学ぶところが大きい。

豊田章一郎氏は、その卓越した経営手腕により、社団法人日本経済団体連合会会長、財団法人機械振興協会会長、社団法人日本自動車会議所会長を歴任し、今日に至るまで日本の経済界に重きをなしている。とりわけ経済団体連合会会長として、「大胆な構想、着実な実行」を基本姿勢に据え、経済社会システムの変革に取り組み、「魅力ある日本」の創造に傾注したことは特筆に値する。

豊田章一郎氏は、優れた技術者としても名声を得ている。氏は、『豊田綱領』の「研究と創造」の精神を旨として、合理性に基づくジャスト・イン・タイム等のトヨタ生産方式の確立および普及に努め、品質管理の功績により1980年デミング賞本賞を授与された。また、氏は、社団法人発明協会会長、財団法人科学技術交流財団会長に就任し、日本の科学技術の発展に大きな足跡を残している。氏の「研究と創造」を追求する姿勢は早稲田大学が掲げる「進取の精神」そのものであり、氏の科学技術への造詣の深さは早稲田大学とトヨタ自動車株式会社との産学連携による共同研究の実現という形で結実している。このことは、理工学術院総合研究所、IT研究機構および総合研究機構において、さまざまな研究成果を挙げるとともに、理工学分野のみならず、社会科学分野においても文理融合型の新たな学術分野の創出に貢献している。

豊田章一郎氏は、これまでの経験の中で培われた社会変革に対する高邁な理想と、トヨタ自動車株式会社が掲げる社会貢献の理念に基づき、未来のリーダーの輩出を目的とした学校法人海陽学園海陽中等教育学校の創設にかかわり、理事長として新たな教育方法の確立と人材の育成に心血を注いでいる。

豊田章一郎氏が経済界、科学技術・教育界において成し遂げた、卓越した多大なる功績は、豊田佐吉翁の遺志を体して「産業報国」および「研究と創造」の精神を具現化したものであり、このような同氏の姿勢は早稲田大学の建学の理念とまさに合致するものである。

ここに早稲田大学総長・理事・監事・評議員ならびに全学の教職員は一致して

豊田章一郎氏に

名誉博士 (Doctor of Laws) の学位を贈ることを決議した。

学問の府に栄えあれ！

大学が栄誉を与えんとする者を讃えよ！

(*Vivat universitas scientiarum! Laudate quem universitas honorabit!*)

2007年4月1日

早稲田大学